

大東亞戰爭重要史実一覽表

# 大東亞戦争重要史一覽表

自昭和十五年七月  
至昭和二十年十一月

(註 各史実の頭部の数字は当該事項発生の日を示す)

		昭和15年 (1940年)										年		
		8					7					月		
16	11	30	24	17	10	5	21	15	11	8	5	国際情勢		
英首相チャーチル、対国民警告放送 米大統領ルーズベルト		立松岡・アンリリー協定成 借を米に承認 英、パーム島の租 獨、対英完全封鎖宣言 1総督と会談 西原仏印監視団長ドク 調印 英ポーランド軍事協定					編入 バルチック三国ソ領に閉鎖を發表 英ビルマ公路の期限付 兼首相に就任 ベタン元帥、仏大統領 否を回答 英ビルマ公路の禁絶拒 交断絶 仏ヴィシー政府対英国							
7	2	29	26	24	16	13	12	10					歐洲戰場	作戦
東地中海で伊英海軍海戦、ロンドン大空襲		英機、ベルリン空襲 ロンドン大空襲 英機、ロンドン空襲 獨機、ロンドン空襲 と独艦艇と海戦 英仏海峡で英水雷艇隊 1ツマスを空襲 獨機、ドーヴァー、ポ					英海軍省、伊英地中海海戦の結果を發表							
5	5	13					10	29 24 16 13					東亞戰場	情勢
北部仏印進駐の大命発令 江北新四軍掃蕩作戦開		海軍、中国沿岸封鎖線を拡大 在北京の英軍撤退					陸軍四軍管区制を設定 海軍、浙江、福建両省沿岸封鎖作戦を開始 陸軍、成都を初空襲 海軍、貴陽を連続爆撃							
19	3	30					28	27 26 22 7					国内情勢	
及川海相就任 御前会議で日独伊三国条約締結に関する廟議		新体制準備会の初総会開催 蘭印特使小林商相出発					近衛公の新政体体制声明 第二次近衛内閣成立 閣議で「基本国策要綱」を決定 連絡会議で「世界情勢の推移に伴ふ時局処理要綱」を決定							

昭和 15 年 (1940 年)										年						
11					10					9					月	
24	23	2018	12	7	31	28	12	8	4	3	27	26	19	国際情勢		
<p>米大統領ルーズベルト三選外相モロトフ、独総統ヒットラー、同外相リッペントロップと会談                  泰、仏印国境紛争発生                  ハンガリー日独伊三国条約に加盟                  ルーマニア日独伊三国条約に加盟                  スロヴァキア日独伊三国条約に加盟</p>					<p>英戦時内閣改造                  独総統ヒットラー、伊首相ムッソリーニ、ブレネル峠で会談                  英、ビルマ公路を再開                  日独伊三国条約に對抗を宣言                  ギリシヤ、伊に宣戦布告                  トルコ不参加を表明</p>					<p>国防宣言発表                  英首相チャーチル下院で米英連合交渉の用意を言明                  米、対日屑鉄禁輸を発表                  日独伊三国条約調印</p>						
	22	13	8	4	28	26	22	21	19	5	24	23	12	作戦		
	<p>英軍、クレタ島上陸を發表                  ドゴール派仏軍アフリカに上陸                  英機、タラント湾を攻撃                  伊軍、アルバニアのクリツアを撤退</p>				<p>独軍、ルーマニアに進駐、ベルシヤ湾、バレン島を空襲                  紅海で、英伊海軍海戦                  英機、独各地を空襲                  伊、ギリシヤ両軍国境で衝突                  英軍、ギリシヤに上陸</p>					<p>伊軍、エジプト攻撃開始                  英艦隊、ダカールを攻撃                  独軍、北ノルウェーに進駐開始</p>					歐洲戰場	
		25	17	13				23	16	13	23	22		情勢		
		<p>英極東軍総司令部をシナガポールに新設                  欽廉撤退を完了                  湖北第五戦区に対する総攻撃開始</p>				<p>海軍、昆明を爆撃                  江南第三戦区殲滅戦終結                  南寧を撤退</p>					<p>北部仏印進駐現地細目協定成立                  北部仏印進駐</p>					東亞戰場
	30	13	10	1				25	12	3				国内情勢		
	<p>蘭印特使小林高相帰朝                  紀元二千六百年記念式典举行                  御前会議で「支那事変処理要綱」を決定                  芳沢大使を蘭印へ特派</p>					<p>杉山参謀総長就任                  大政翼賛会発会                  閣議で「対蘭印経済発展の為の施策」を決定</p>					<p>決定</p>					国内情勢

昭和16年 (1941 年)				昭和15年 (1940 年)						
2		1		12		11				
14	10	7	6	30	7	2	21 20 2	30 30 30 30		
野村大使米国到着 会談開始 英、ルーマニア国交断 野村大使、米大統領ルーズベルトと初会見				芳沢大使、対蘭印交渉を開始 米、国防生産管理局を設置 泰、仏印停戦協定成立				英、スペイン金融協定成立 泰、仏両国日本の紛争調停申入を拒否 独、在バרי米国大使館員の引揚げを要求		日本、中国国民政府を承認 日華基本条約調印 日滿華共同宣言を発表 米、一億ドルの援借借款供与を発表
24	18	11	9	30	20	13	4	18 13 8 2		
英地中海艦隊、ゼノアを攻撃 独機、スエズ運河を攻撃 伊軍、東阿キシマオイを撤退 北アフリビアに独機甲部隊				北阿バルディア陥落、伊軍司令官以下捕虜となる 独軍ブルガリアに進駐 英軍、北阿トブルクに進入 英軍、北阿デルナを占領				ギリシャ戦線の伊軍反撃に転ず 独機、ロンドンを夜間空襲 ギリシャ軍デルヴィノを占領 独総統ヒットラー、対ソ戦準備を秘密命令		
25	8	4	4	22	20	17	3	27 25		
南支軍、海軍と協力し惠州南方に上陸 河南作戦完了 蘇北新四軍を撃破				湖北第九戦区に対する攻撃開始 重慶、新四軍に解散を命ず 大湖南岸新編二十師の包囲作戦開始 蒙疆オールドス方面作戦開始				中南支沿岸封鎖強化を發動 独艦、ナウル島を砲撃		
			3	30	19	27	27 14 8 6			
連絡懇談会で「対独伊ソ交渉案要綱」を決定				連絡懇談会で「泰、仏印紛争調停に関する緊急処理要綱」を決定 連絡懇談会で「対仏印泰施策要綱」を決定				平沼國務相入閣 閣議で「経済新体制要綱」を決定 大政翼賛会、実践要綱を發表 連絡会議で「泰及仏印に対し採るべき帝国の措置」を決定 野村駐米大使親任		



昭和 16年 (1941 年)

6		5					4				
21 17 14 11	2	31	27	16 10 9 6	4 1	25	25 18	16 13 10			
示 正案 に 対 す る 対 案 を 提 示	独 統 統 ヒ ッ ト ラ ー、 伊 首 相 ム ツ ソ リ ー、 ブ レ ン ネ ル 特 で 会 談 日 ソ 通 商 貿 易 協 定 成 立 米、 對 獨 伊 資 金 凍 結 日 蘭 會 商 決 裂 米、 日 米 交 渉 の 日 本 修 正 案 に 對 す る 對 案 を 提 示	を 提 示 米、 日 米 交 渉 中 間 提 案	無 制 限 國 家 非 常 時 を 宣 言 米、 日 米 交 渉 中 間 提 案	日 祭 輸 を 決 定 米 大 統 領 ル ー ズ ベ ル ト	獨 副 統 統 ヘ ス、 入 英 英、 マ レ ー の ゴ ム の 對	英、 内 閣 改 造 米 大 統 領 ル ー ズ ベ ル ト 參 戰 の 決 意 を 表 明 日 印 經 濟 協 定 調 印 日 泰 平 和 條 約 調 印	米、 全 海 洋 に 哨 海 制 美 施 を 聲 明	調 印 米、 對 中 國 借 款 協 定 米、 對 獨 無 條 件 降 伏	日 ソ 中 立 條 約 調 印 日 米 諒 解 案 完 成、 日 米 交 渉 開 始 ユ ー ゴ 對 獨 無 條 件 降 伏	國 交 斷 絶 ク ロ ア チ ヤ 獨 立 宣 言 日 ソ 中 立 條 約 調 印 日 米 諒 解 案 完 成、 日 米 交 渉 開 始 ユ ー ゴ 對 獨 無 條 件 降 伏	
30	25	22	21 18 1	30	24	20	19	17	23	13	11
獨 軍、 レ ム ベ ル グ を 占	獨 軍、 ベ ッ サ ラ ビ ア 首 都 キ ン ネ フ を 占 領	行 動 を 開 始 獨 軍、 ベ ッ サ ラ ビ ア 首 都 キ ン ネ フ を 占 領	獨 軍、 ク レ タ 島 占 領 獨 伊 軍、 ソ ル ム で 完 勝 獨 機、 ウ ク ラ イ ナ、 ク リ ミ ヤ を 爆 撃 フ イ ン ラ ン ド、 對 ソ 軍	獨 落 下 傘 部 隊、 ク レ タ 島 を 攻 撃 英 獨、 グ リ ー ン ラ ン ド 沖 で 大 海 戰 英 軍、 ギ リ シ ヤ を 撤 退	英 軍、 北 阿 ソ ル ム を 撤 退 伊 軍、 エ チ オ ピ ア で 降 伏	獨 落 下 傘 部 隊、 ク レ タ 島 を 攻 撃 英 獨、 グ リ ー ン ラ ン ド 沖 で 大 海 戰 英 軍、 ギ リ シ ヤ を 撤 退	英 軍、 北 阿 ソ ル ム を 撤 退 伊 軍、 エ チ オ ピ ア で 降 伏	英 軍、 北 阿 ソ ル ム を 撤 退 伊 軍、 エ チ オ ピ ア で 降 伏	入 ハ ン ガ リ ー 軍、 ユ ー ゴ 領 へ 進 撃 獨 伊 軍、 エ ジ プ ト に 進 入 ギ リ シ ヤ 軍、 獨 伊 に 降 伏	入 ハ ン ガ リ ー 軍、 ユ ー ゴ 領 へ 進 撃 獨 伊 軍、 エ ジ プ ト に 進 入 ギ リ シ ヤ 軍、 獨 伊 に 降 伏	
	18	14 6				18	7				
	爆 撃 海 軍、 蘭 州 及 び 西 安 を	海 軍、 重 慶 を 夜 間 爆 撃 第 六 次 南 支 沿 岸 封 鎖 強 化 海 軍、 蘭 州 及 び 西 安 を				中 原 第 五 戰 区 攻 擊 作 戰 開 始 第 五 戰 区 李 宗 仁 軍 覆 滅 中 原 作 戰 完 了	中 原 第 五 戰 区 攻 擊 作 戰 開 始 第 五 戰 区 李 宗 仁 軍 覆 滅 中 原 作 戰 完 了				
28	25	6		30		12					
網 案」 を 決 定	連 絡 懇 談 會 で 「情 勢 の 推 移 に 伴 ふ 帝 國 國 策 要 綱 案」 を 決 定	大 本 營 陸 海 軍 部 「對 南 方 施 策 要 綱」 を 決 定 連 絡 懇 談 會 で 「南 方 施 策 進 進 に 関 す る 件」 を 決 定		松 岡 外 相、 樞 軸 外 交 の 不 変 を 強 調		松 岡 外 相、 日 米 諒 解 案 の 我 方 修 正 案 に 基 く 交 渉 開 始 を 野 村 大 使 に 訓 令					

昭和 16 年 (1941 年)						年
8	7				6	月
14 11 4 米、対ソ援助を確約 豊田・クレীগー会談 米大統領ルーズベルト 英首相チャーチルの洋 上会談、大西洋憲章発 表	29 日仏印共同防衛議定書 調印	28 26 香港、蘭印、対日資金 凍結	15 米英、対日資産凍結 を決定	14 12 英ソ軍事協定成立 南部仏印進駐の為ヴィ シー政府との交渉を開 始	22 22 22 22 独ソ開戦 ルーマニア、対ソ戦を 開始 スエーデン、中立を宣 言 スロヴァキア、対ソ国 交断絶	国 際 情 勢
25 25 21 12 9 独軍、ドニエプルベ ト 英ソ軍、イラン進入 へ二十料の点に進出 独軍、オデッサを包囲 独軍、レニングラード ソ連機、ベルリン空襲 独軍、オデッサを包囲	23 21 16 14 独機、モスコイ空襲 英伊、地中海で海戦 ガ湖附近でソ軍を攻撃 独軍、ノヴゴロド、ス モレンスクを占領	11 ソ連、三総司令官(ウ オロシロフ、チモ シエンコ、ブジ ンヌイ)を任命	6 突破	5 独軍、ドニエプル河へ 到達	領	作 戦 情 勢
	28 26 21 12 南部仏印進駐 米極東陸軍司令部をマ ニラに設置	5 防衛総司令部新設 南部仏印進駐現地細目 協定成立	2 大本営陸軍部「関特演」 を決定発動	1 中国国府、清郷工作を 開始		東 亞 戦 場 情 勢
6 4 連絡会議で「対ソ外交 交渉要綱」を決定 連絡会議で「日ソ間の 現情勢に対し帝国の採 るべき措置に関する 件」を決定		18 15 第三次近衛内閣成立 正提案	2 御前会議で「情勢の推 移に伴ふ帝国国策要綱」 を決定 日米交渉我方第二次修 正提案		国 内 情 勢	

## 昭和 16 年 (1941 年)

11		10		9			8				
10	7	13	2	29	25	9	3	1	29	27	
野村大使、日米交渉甲案を米ハル國務長官に提示 英首相チャーチル、日		米、従米の日本側諸提案に対する覚書を交付 米蘭軍事会談開催		援ノ三国会談開催			米、海軍両洋艦隊建造計画を發表 米大統領ルーズベルトの近衛宛メッセージ及び米國政府覚書を提示 日本、在英領邦人の引揚を發表 九月二十日決定の日本側第一次修正交渉案を米に提示		イラン、英ソに停戦を申入 独伊共同コムミュニケ發表		
16	8	24	19	1916	6	24	20	8	7	2	
米、アイスランドに海軍基地を創設 軍、モスクワ第二次総攻撃を開始		独軍、モスクワ総攻撃開始 オデッサ陥落 モスクワに戒嚴令布かる ソ軍、カリニンを奪回 独軍、ウクライナのハリコフを占領		独軍、モスクワ総攻撃開始 オデッサ陥落 モスクワに戒嚴令布かる ソ軍、カリニンを奪回 独軍、ウクライナのハリコフを占領			独軍、レニングラードの半包囲を完成 英機、ベルリン上空襲英、カナダ、ノルウェー軍スピッツベルゲンに上陸 独軍、ウクライナのキエフを占領 独軍、レニングラード郊外に達す			ロフスクを占領	
5	5	31	5	2	28	25	18	18	11	1	
大本營海軍部は所要の対米英蘭作戰準備実施を聯合艦隊に発令 山東南部作戰開始		河南進攻作戰開始 米英東亞軍首脳マニラで会談 鄭州撤退開始		河南進攻作戰開始 米英東亞軍首脳マニラで会談 鄭州撤退開始			全海軍戰時編制発令 防衛總司令部新設發表 大本營、情勢の推移に應ずる對南方作戰準備を發令 湖南作戰開始 英、米のシンガポール使用を容認 長沙を占領			大本營陸軍部「帝國陸軍作戰要綱」を決定 江南第三戰区に對し反擊作戰開始 北支剿共第三期戰開始	
6	5	29	18	12	20	6	4	26	15		
御前會議で對米英蘭戰爭決意の「帝國國策遂行要領」を決定 米大統領ルーズベルト宛に近衛メッセージを發す		東條内閣成立 連絡會議で國策再検討を開始		荻外莊に於て五相會議開催 東條内閣成立 連絡會議で國策再検討を開始			日米交渉我方新提案御前會議で對米英蘭戰爭を辭せざるの「帝國國策遂行要領」を決定 米側の六月二十一日對案に對する我方修正案を連絡會議で決定			連絡會議で「泰に關する對英交渉要綱」を決定 米大統領ルーズベルト宛に近衛メッセージを發す	

昭和 16 年 (1941 年)										年							
12					11					月							
8	8	8	8	7	6	1	26	25	20	19	17	11	国際情勢				
<p>全マレー非常事態宣言、英、対フィンランド、ハンガリー、ルーマニア宣戦 米大統領ルーズベルト親電を發す 日米英開戦 野村大使、日米交渉打切通告を米ハル國務長官に手交 日本、在中国米英權益を接収 日仏印軍事協定成立</p>					<p>日米交渉甲案決裂 野村、米栖両大使、日米交渉乙案を米ハル國務長官に提示 防共協定の拡大に調印 米ハル國務長官、所謂ハル・ノートを野村、米栖両大使に提示</p>					<p>米開戦せば英も即時参戦と演説 米大統領ルーズベルト参戦を辭せずと声明 米栖大使、日米交渉に参加 日米交渉甲案決裂 野村、米栖両大使、日米交渉乙案を米ハル國務長官に提示</p>		国際情勢					
		24	19	17	8	1						22	22	作戦			
		<p>独軍、ロストフを撤退 独軍、東部戦線は休止と發表 モスクワ、レニングラード間の連絡再開 独総統ヒットラー、陸軍総司令官に就任 英軍、北阿ベンガチを占領</p>											22	22	作戦		
8	8	8	8	8	4	2	1	1	1	27	26	26	21	15	6	東亞情勢	
<p>比島攻撃開始 泰国進駐開始 海軍、香港を封鎖、友</p>					<p>大本營、作戰実行を發令 蘭印陸空軍動員 全比島に非常警戒發令 大本營、八日進攻作戰開始を發令 マレー作戰部隊、海南島三亞港を出發 マレー奇襲 ハワイ上陸</p>					<p>大本營陸軍部は南方軍及び南海支隊の戦闘序列と南海要域及び香港攻略準備とを發令 南方軍及び南海支隊に對する南方要域攻略の任務附与 大本營海軍部は作戰部隊の作戰待機海面進出を指示 米軍部、ハワイ現地軍に警告を發す ハワイ作戰機動部隊エトロフ島ヒトカップ灣出港 在上海の米海兵隊引揚</p>					<p>大本營陸軍部は南方軍及び南海支隊の戦闘序列と南海要域及び香港攻略準備とを發令 南方軍及び南海支隊に對する南方要域攻略の任務附与 大本營海軍部は作戰部隊の作戰待機海面進出を指示 米軍部、ハワイ現地軍に警告を發す ハワイ作戰機動部隊エトロフ島ヒトカップ灣出港 在上海の米海兵隊引揚</p>		東亞情勢
8	8	6	4	4	1	23	20	17	15	13	10	国内情勢					
<p>對米英宣戦の詔勅發換 東郷外相、日米会谈の経緯を公表</p>					<p>御前會議で「對米英蘭開戦の件」を決定 連絡會議で「和蘭の取扱に關する件」を決定 連絡會議で「開戦に方り滿洲国をして執らしむべき措置」を決定 連絡會議で「開戦に方り支那をして執らしむべき措置」を決定 東郷外相、日米会谈の経緯を公表</p>					<p>連絡會議で「對泰措置要領」を決定 連絡會議で「對米英蘭開戦の件」を決定 連絡會議で「和蘭の取扱に關する件」を決定 連絡會議で「開戦に方り滿洲国をして執らしむべき措置」を決定 連絡會議で「對米英蘭開戦の件」を決定 連絡會議で「和蘭の取扱に關する件」を決定 連絡會議で「開戦に方り滿洲国をして執らしむべき措置」を決定 連絡會議で「對泰措置要領」を決定</p>					<p>連絡會議で「對泰措置要領」を決定 連絡會議で「對米英蘭開戦の件」を決定 連絡會議で「和蘭の取扱に關する件」を決定 連絡會議で「開戦に方り滿洲国をして執らしむべき措置」を決定 連絡會議で「對米英蘭開戦の件」を決定 連絡會議で「和蘭の取扱に關する件」を決定 連絡會議で「開戦に方り滿洲国をして執らしむべき措置」を決定 連絡會議で「對泰措置要領」を決定</p>		国内情勢

昭和 16 年 (1941 年)

1	12																									
2	1											28 27	27 26	23 22 21	11 11	9										
チリーの、中立を宣言	米、自動車ゴムタイヤの割当制を実施											英、対ブルガリヤ宣戦 対枢軸連合国ウィンストン ン円卓会議開催	英米蔣軍事同盟締結 南京大東亞解放大会開催	会談開始	米英、ワシントン渡米 英首相チャーチル渡米	日泰攻守同盟調印	独伊、対米宣戦布告	チリ、南阿、対日宣戦 日独伊三国協定調印								
17	3																									
英軍、北阿バルチアを占領、ハルフアヤ要塞																										
3	2	312828252424	23	22	21	20	19	18	17	17	16	14	13	12	11	10	10	9								
米英、太平洋防衛最高司令官(ウェーベル大)	マニラを占領																									
		占領	マレーのクワンタンを占領	香港陥落	香港陥落	ボルネオのクチン占領	ウエーキ島占領	ガエン湾へ上陸	比島攻略部隊主力リン	陥落	ミンダナオ島のダバオ	ベナン島占領	香港へ上陸	官を罷免	米国、ハワイ陸海軍長	蘭濠軍、チモール島へ進入	英領ボルネオへ上陸	香港総攻撃開始	城勸告	九竜市街占領	香港のヤンソング総督へ開	グアム島完全占領	グアム島及び北部比島へ上陸	マレー沖海戦	バンコックへ進駐	邦及び中立国船舶に退去を命令
10	2	29 24	24	23	19	17	16	16	13	13	12	11	10	10	9	8										
閣議で毎月八日を大詔奉戴日と決定 連絡会議で「情勢の推																										
		陸海軍に勅語下賜	防空実施令発布	天皇、宮中三殿に臨時御親祭、宣戦御報告並に御祈願	連絡会議で大東亞戦争の呼称と、開戦時を以て平戦時の分界とする件を決定	聯合艦隊司令長官へ勅語下賜	八田鉄相入閣	聯合艦隊司令長官へ再び勅語下賜	大詔奉戴国民大会開催	連絡会議で「戦争の推移に伴ふ対蘭印戦争指導要領」を決定	第七十八臨時議會開會	国民徴用令を強化	第七十八臨時議會閉會	重光駐支大使親任	敵産管理令公布	連絡会議で「情勢の推移に伴ふ対重慶屈伏工作に関する件」を決定	第七十九議會召集	俘虜情報局設置								



昭和 17 年 (1942 年)

3	2																	
9 5	26	2222	21	19	18	14 9	9	7	6 5	5 4								
日米、外交官交換諒解ヤング提督、米海軍作戦部長に就任	泰、内閣を改造	英第二次内閣改造 チャンドラ・ボース、 日印提携独立を声明	上海工部局より英人全部解任	プス卿入閣	英、内閣改造、クリップス	天津、広東兩租界を国府に移管	米英、ワシントン軍事会議開催	蔣介石、印度を訪問	泰仏印国境画定会議開始	米英共同軍需品配給局新設	比島臨時政府事務開始 米英合同参謀本部團結	立 米議會で援蔣借款案成 英、内閣改造						
4 3																		
米軍増援部隊、アイルランドへ上陸																		
独機、スエズを爆撃																		
12	5	1																
海戦	独英ドーヴァー沖で大突破	独伊軍、北阿デルナを占領	独伊軍、北阿バルチエ															
2 1 1	27	26	24	23	22	20	20	19	17	15	14	11	10	9	9	5	4	
西南太平洋連合軍総司令部	スラバヤ沖海戦	ミンドロ島へ上陸	ペンタレンを占領	潜水艦、ロスアンゼルス海岸を砲撃	領	スマトラのラハトを占領	バリ島沖海戦	チモール島占領	ダーウィン空襲	パレンバンを占領	軍無条件降伏	シンガポール陥落、英領	陸軍落下傘部隊、パレンバンに降下	入	シンガポール市街に突入	マルタを占領	パンジエルマシン及びバングラを占領	シンガポール市街に突
ジャバワイア沖海戦																		
ジャワへ上陸																		
山東、魯南作戦開始																		
シンガポールへ上陸																		
マカッサル及びガスマタを占領																		
9 9 5 4																		
2	28	28	26	23	23	21	19	18	17	16	16	14	3	2				
連絡會議で「国民生活確保の具体的方策」を決定	第二回重臣會議開催	連絡會議で「帝国領導下に新秩序を建設すべき大東亜地域」を決定	佐藤新駐ソ大使を発令	源圍を如何に定むべきや」を決定	連絡會議で「南方諸地域に対する通貨金融制度の基本方策」を決定	連絡會議で「帝国の資源圍を如何に定むべきや」を決定	大東亜建設審議會官制公布	戦捷第一次祝賀式挙行	田辺中将、参謀次長に就任	湯沢内相入閣	宣言	陸海軍に勅語下賜	東條首相、東亜解放を要綱」を決定	連絡會議で「華僑対策要綱」を決定	連絡會議で「華僑対策要綱」を決定	連絡會議で「華僑対策要綱」を決定	連絡會議で「華僑対策要綱」を決定	連絡會議で「華僑対策要綱」を決定

昭和 17 年 (1942 年)												年								
4				3								月								
8	1	31	31 29	28	27	27	25 21 21	18 14	11	10 10	10	国 際 情 勢								
米、英、カナダ、重慶等のワシントン太平洋軍事会議開催 米参謀総長マーシャル、英首相チャーチルとロンドンで会談			表示 印度国民会議派、英提案を拒絶 ガンジ、反英の意志								泰、新内閣成立 在シンガポール印度独立連盟活動開始 英、クリップス卿を印度へ派遣 独伊経済協定成立 トルコ大統領、中立を声明 日ソ漁業暫定条約調印 五億ドル援將借款成立 広東沙面の行政移管式 ガンジ、クリップス 会談開始 チャンドラ・ボース独 より反英公開放送 天津英租界の行政移管式 英印第二次会談実施 印度国民会議派、英提案を拒絶 ガンジ、反英の意志									
19	17	2									29	27	27 24	14	11 8	6 5	欧 洲 戰 場			
島を攻撃			伊機、ジブラルタルを空襲 アルメニア国境でソ連、トルコ両軍衝突 独潜水艦、キヌラソ								施英、北海で海戦		トルコ軍、イラン国境に集結 英、仏本土上陸作戦実施		ソ軍、テヘランに進入 トルコ軍、イラン国境に集結 英、仏本土上陸作戦実施		独、英ドブナー海峡で海戦 ソ軍、北部イランに進入 英機、パリを爆撃 ソ軍、北部イランに進		独機、モスクワを爆撃 ソマリランドで英仏軍衝突 英機、パリを爆撃 ソ軍、北部イランに進	
9	9 5	3	31	27	26 23	18 17 16	15 14 13 9	8 8 7 5	4			東 亞 戰 場								
米空母ハーミスを撃沈			クリスマス島を占領								アンダマン島へ上陸 第三次印度洋方面機動作戦実施 濠洲陸軍司令官にブレ イミー中将就任		マッカーサー比島脱出 連合軍司令部、濠洲に 新設 アンダマン島へ上陸 連合軍司令部、濠洲に		セイロン防衛司令官に レイトン就任 ダーウィンを空襲 マッカーサー比島脱出 連合軍司令部、濠洲に		ラン印、無条件降伏 ラエ、サラモアへ上陸 蘭印に軍政布告 ラングーンを占領 バタヴィアを占領 了		司令官ウェーベル罷免 山西共産軍殲滅作戦終 了	
11 8	6									27 25	18	16 12	11	9	9	7	国 内 情 勢			
東條首相、対印度声明を發表 日ソ漁業議定書公布 連絡會議で「印度及びアラビヤに対する三国共同声明案」を決定			第七十九議會閉会 ローマ法皇庁に特派公使を派遣								連絡會議で「南方開發金庫に関する件」を決定 連絡會議で「印度及びアラビヤに対する三国共同声明案」を決定		連絡會議で「時局に伴ふ猶太人対策」を決定 戦捷第二次祝賀式挙行 滿洲国張景惠特派大使入京		連絡會議で「世界状況判断」を決定 連絡會議で「時局に伴ふ猶太人対策」を決定 戦捷第二次祝賀式挙行 滿洲国張景惠特派大使入京		連絡會議で「今後執るべき戦争指導の大綱」を決定 連絡會議で「船舶の現狀並に之が対策」を決定			

昭和 17 年 (1942 年)

5				4														
11	8	8	7	2929	2326	2221	1814	13	12	11	1110	9	8					
独、ブルガリア通商協定成立	トルコ、ブルガリア通商協定成立	米、ブラジル通商協定	国府汪首席、満洲国訪問	ルツブルグで会談	独総統ヒットラー、完全独裁権を掌握	南阿、対仏国交断絶	に参加	重慶側孫良成和平陣営	日泰経済協力諒解成立	仏、ラヴァル内閣成立	イラン、対日国交断絶	否	ネール、米の干渉を拒否					
15	14	8	7															
独軍、ケルチ占領を公	攻撃	独、北氷洋で米艦隊を	開始															
7	5	4	3	3	1			30	29	25	19	1918	1816	111110				
ミートキーナを占領	緬支国境龍陵を占領	アキヤブ飛行場を占領	ビルマのバーモを占領	へ上陸	マンダレーを占領			撃滅戦実施	ニューギニア方面航空	ビルマのランオを占領	ヘル	官に就任	サ上陸	ランジアホーミ				
9	9	6									30	24	22	15	11			
朝鮮に徴兵制施行を決	布	臨時議会召集の詔書公	を決定	共同声明見合せの件	ラビヤに対する三国の	連絡会議で「印度及ア					決定	第二十一回総選挙実施	決定	使節一行来日	泰、ビヤ、パホン慶祝	飛行師団司令部令を施	領地建設方針」を発表	陸軍省軍務局「南方占



昭和 17 年 (1942 年)

7										6										
21	21	20	16	15	10	8	7	3	2	25	23	21	19	18						
米、ペルー新通商条約成立 独伊、エジプトの中立確保を声明 泰、国民政府を承認 太平洋軍事会談開催 広田特使バンコック着 埃及に反英運動勃発 ソ連、オランダ外交関係設立協定成立 独、日本の対ソ攻撃を要望 米リー提督、大統領付参謀総長に就任 ブルガリヤ、スエーデン通商協定成立										導の用意を声明 日本、対泰二億円借款契約に調印 英首相チャーチル、ワシントン訪問、米首脳と会談 インドのヒンズー回教徒連盟、大同団結を宣言 アルゼンチン大統領辞任 ワシントンで太平洋軍事会談開催										
31	30	24	22	18	17	7	1	1	1				29	28						
カナダ増援部隊着英領 ソ連軍、ドン河湾曲部で激戦										占領 スエズの英軍危機に陥る 独伊軍、マルサマトー ル及びフカを占領										
			30	25	21	18	12	1	1	16	25	24	22	21	20	18	15	14	13	10
アルを空襲 フルド、カイ、タンニバルを攻略										大本營、FS作戦を延期 ニコバル群島を占領 海軍、ダーウィン及びモレスビーを爆撃 上饒城を占領 南支軍、第二次作戦開始 潜水艦、バンクーバー及ビオレゴン州西岸を砲撃 浙江新作戦開始 ボルネオのナツナ島を占領 麗水を占領 山西、陵川を占領 米機、ウェーキに來襲										
29	27	25	14	8				1	1											
大東亜建設審議会にて建設二方策(農林、水産及び交通)を樹立 連絡会議で「計画造船に関する件」及び「昭和十七年徴備船に関する件」を決定 ソ連マリック大使、信任状を捧呈 周仏海一行入京 連絡会議で「対独回答に関する件」を決定 東條首相、作戦必勝、建設必成を闡明 広田遺奏特使帰京																				

昭和 17 年 (1942 年)											年			
8					7						月			
27 24 22 20 13 12 9											31 28 22 22 21		国 際 情 勢	
<p>日英交換船電田丸、ロレンソマルケス着</p> <p>に参加</p> <p>中共、泰東政府秘書長以下三千名、和平陣営</p> <p>対独伊宣戦</p> <p>ブラジル、ウルグアイ、</p> <p>国民政府、機構を改革</p> <p>米、対印不干渉を声明</p> <p>米英ソ、三国会談開催</p> <p>捕せらる</p> <p>ガンジ、ネール等逮</p>					<p>日米交換船浅間丸、ロレンソマルケス着</p> <p>アルゼンチン、汎米プロックと絶縁を宣言</p> <p>チリ、中立を表明</p> <p>日英外交官協定成立</p>									
<p>31 19 15 10 9</p> <p>独軍、スターリングラードに突入</p> <p>英軍、北仏上陸作戦実施</p> <p>独軍、シオジェフスクを占領</p> <p>独軍、ピアテゴールズ</p> <p>独軍、ピアテゴールズ</p> <p>独軍、クラスノダール及びマイコープ油田を占領</p> <p>9</p>											欧 洲 戦 場		作 戦	
<p>29 26 25 25 24 18 18 17 8 8</p> <p>川口支隊其の他のガ島増援開始</p> <p>オーシャン島を占領</p> <p>ラビへ上陸</p> <p>陸戦隊ニューギニヤの</p> <p>第二次ソロモン海戦</p> <p>ナウル島を占領</p> <p>タイボ岬へ上陸</p> <p>一木支隊先遣隊、ガ島</p> <p>チモール島を截定</p> <p>連合軍、マキンを襲</p> <p>米艦、キスカを砲撃</p> <p>第一次ソロモン海戦</p> <p>ル反攻を受く</p> <p>ツラギ及びガダルカナ</p> <p>ドランドを空襲</p> <p>海軍、濠洲ポートヘツ</p> <p>浙江、遂昌を占領</p> <p>4 1</p>											東 亞 戦 場		情 勢	
<p>28 22 20 19 17 14 1</p> <p>氏を決定</p> <p>国民政府答札特派使に</p> <p>オに俘虜收容所を新設</p> <p>比島、ジャワ、ボルネ</p> <p>朝鮮、台湾、泰、馬來</p> <p>する件」を決定</p> <p>及び重要資材供給に関</p> <p>連絡会議で「独逸船舶</p> <p>入港</p> <p>コンテヴェルデ号横浜</p> <p>日米交換船浅間丸及び</p> <p>軍司令官に後宮大將を</p> <p>それぞれ就任</p> <p>支那派遣軍総參謀長に</p> <p>河辺(正)中将、中部</p> <p>支那派遣軍總參謀長に</p> <p>田中(静)中将就任</p> <p>比島方面最高司令官に</p> <p>原中将それぞれ就任</p> <p>將、関東軍參謀長に笠</p> <p>北部軍司令官に樋口中</p>											国 内 情 勢			

昭和17年(1942年)

10					9														
10	9	8	7	6	2	29	29	27	27	23	17	16	15	7	7	4			
比島官民連絡所開所 撤廃を發表 米英、支那の治外法權 立 国民政府の軍事機構確 定 平和陣營に参加 山東の重慶軍一万五千、 印 米英、援ソ議定書に調 認 米、ドゴール政權を承					米大統領特使ウィルキ ー、トルコに入る 伊、対ブラジル宣戦 満洲建国十周年記念式 典新京で挙行 ブラジル、総動員を下 令 米大統領特使ウィルキ ー、ソ連に入る 国民政府答礼使節一行 汪首席に謁見、特派声 明を發表 日独伊、三国同盟締結 二周年記念 ソ連、ドゴール政權を 承認 米大統領特使ウィルキ ー、重慶着 満洲国駐日大使に王允 郷を任命					ルーマニア軍、アバナ 港を占領 独軍、ノウロンスク軍 港を占領 英軍、マダガスカへ 上陸 独軍、テレク及びウ ラジミロフスキーを占 領 イラン軍、ソ軍を襲撃 英軍、マダガスカル首 都タナナリヴォを占領 米軍、南阿へ進駐					アパママを占領 タラウに揚陸 関東軍及び支那派遣軍 に対し五号作戦準備を 内示 南海支隊、オーエンス タンレー山系頂上線に 進出 ラビ方面の陸戦隊撤退 海軍、米オレゴン州を 初空襲 ガ島川口支隊、攻撃開 始 川口支隊の攻撃不成功 ガ島東方で米空母ワス プを撃沈 ガ島カミンボに千百名 を揚陸 海軍、大西洋で樞軸海 軍と協同作戦し日本潜 水艦独基地寄港と發表 南海支隊後退開始				
13	9	7	6	3	3	27	26	26	23	19	18	17	15	1	1	1			
連絡会議で「遣独伊連 絡使派遣に関する件」 を決定 閣議。「戦時陸運の非 常態勢要請」を決定 満洲国高官に勳章贈与 を決定 日英交換船鎌倉丸、香 港より横浜へ入港 大東亜会館で日滿華興 亜団体の初会合開催					閣議で大東亜省の設置 を決定 東郷外相辞任し東條首 相外相を兼任 鎮海、大湊鎮守府司令 長官にそれぞれ後藤、 河瀬中将就任 谷外相、青木國務相入 閣 国民政府答礼使節出発 連絡会議で「對泰施策 に関する件」を決定 連絡会議で「帝國の作 戦地域内に於ける敵國 及敵国人財産の処理運 營に関する件」を決定 防衛召集規則創設 第三回中央協力會議開 催 日英交換船竜田丸、横 策入港														

昭和 17 年 (1942 年)											年		
11						10					月		
30	13	10	9	9	7	7	28	28	22		国 際 情 勢		
<p>記 念 日 滿 華 共 同 宣 言 二 周 年 開 催</p> <p>重 慶 、 十 中 全 會 を 開 催</p> <p>米 、 對 仏 資 金 凍 結</p> <p>司 令 官 に 就 任</p> <p>仏 主 席 ベ タ ン 、 三 軍 總 へ ん で 會 談</p> <p>独 伊 仏 三 巨 頭 、 ミ ュ ン</p>						<p>28 28 22</p> <p>交 リ ベ リ ヤ 、 枢 軸 國 と 断</p> <p>日 泰 文 化 協 定 成 立</p> <p>重 慶 で 米 英 ソ 蔣 の 東 亞 作 戦 會 議 開 催</p>							
28	27	22	19	13	12	9	8	6			歐 洲 戰 場		
<p>英 軍 、 仏 領 レ ・ ユ ニ オ</p> <p>駐 、 在 仏 艦 隊 自 沈</p> <p>獨 軍 、 ソ ー ロ ン 港 に 進</p> <p>ソ 軍 反 擊 に 転 ず</p> <p>ス タ ー リ ン グ ラ ー ド で</p> <p>を 撤 退</p> <p>獨 伊 軍 、 北 阿 ベ ン ガ チ</p> <p>を 撤 退</p> <p>獨 伊 軍 、 北 阿 ト プ ル ク</p> <p>を 發 表</p> <p>米 軍 、 チ ュ ニ ジ ア 進 擊</p> <p>海 戰</p> <p>カ サ ブ ラ ン カ 沖 で 英 仏</p>						<p>仏 、 マ ダ ガ ス カ ル の 休 戰 を 發 表</p> <p>米 軍 、 仏 領 ア フ リ カ へ 進 入 、 ア ル ジ エ ー の 仏 軍 降 伏</p> <p>カ サ ブ ラ ン カ 沖 で 英 仏</p> <p>海 戰</p> <p>米 軍 、 チ ュ ニ ジ ア 進 擊</p> <p>獨 伊 軍 、 北 阿 ト プ ル ク</p> <p>を 發 表</p> <p>米 軍 、 チ ュ ニ ジ ア 進 擊</p>							
30	28	17	16	14	10	10	5	4	2	2	1	東 亞 戰 場	
<p>ル ン ガ 沖 夜 戰</p> <p>連 合 軍 機 、 ブ イ ン に 大 挙 來 襲</p> <p>揚 陸</p> <p>ブ ナ 方 面 に 増 援 部 隊 を</p>						<p>ブ ナ に 對 す る 輸 送 成 功</p> <p>桂 林 を 空 襲</p> <p>ガ 島 タ サ フ ア ロ ン グ 、 コ リ 岬 に 輸 送 成 功</p> <p>山 西 大 行 山 脈 で 刺 共 戰 展 開</p> <p>連 合 軍 ガ 島 に 増 強</p> <p>ガ 島 に 我 増 援 部 隊 揚 陸</p> <p>第 八 方 面 軍 新 設</p> <p>第 三 次 ソ ロ モ ン 海 戰</p> <p>連 合 軍 、 ブ ナ 東 南 へ 上 陸</p>							
16	12	11	10	7	7	7	1	29	28	23	19	15	国 内 情 勢
<p>大 東 亞 建 設 審 議 會 開 催</p> <p>連 絡 會 議 で 「 在 支 敵 産 の 処 理 運 營 要 綱 」 決 定</p>						<p>大 東 亞 省 發 足 、 青 木 大 東 亞 相 就 任</p> <p>第 八 十 一 議 會 召 集</p> <p>連 絡 會 議 で 「 世 界 情 勢 判 断 」 を 決 定</p> <p>上 海 方 面 陸 軍 最 高 指 揮 官 に 下 村 中 將 就 任</p> <p>支 那 方 面 艦 隊 司 令 長 官 に 吉 田 大 將 、 横 鎮 長 官 に 古 賀 大 將 、 呉 鎮 長 官 に 高 橋 中 將 、 軍 事 參 謀 官 に 豊 田 大 將 、 平 田 中 將 を そ れ ぞ れ 就 任</p> <p>佐 鎮 長 官 に 南 雲 中 將 就 任</p>					<p>兵 器 行 政 本 部 發 足</p> <p>本 土 空 襲 米 機 搭 乗 員 の 処 罰 を 發 表</p> <p>小 磯 朝 鮮 總 督 赴 任</p> <p>前 田 大 將 陣 歿 、 ボ ル ネ オ 方 面 最 高 指 揮 官 に 山 協 中 將 就 任</p>		

昭和 17 年 (1942 年)

12										11																
31	27	24	19	18	17	16	14	3	1	1																
米、ブラジル合同軍事委員会成立	米、ブラジルと発表	ダルランの後継はシロ	仏ダルラン提督暗殺さ	定成立	独、スエーデン通商協	独伊仏三巨頭会谈開催	重慶、物価統制法を發表	独伊、通商協定調印	芳沢、ドクレー会談	定成立發表	米、ポルトガル通商協	定調印	独、ブルガリヤ通商協	米、カナダ經濟基本協												
										30																
										英軍、仏領ソマリランドに進入																
										3	3	4	10	25	28											
										軍独、北阿ダブルバを占領	米英軍、西阿象牙海岸に進入	独軍、北阿タバルカを占領	米軍、アフリカのタガールへ上陸	英、ドゴール軍、ソマリランドに進入												
31	31	30	25	23	18	14	8	4	1																	
撤退作戦を決定	大本営、ガダルカナル	連合軍機、ムンダ及びラエに來襲	大別山作戦開始	揚陸	ホルランジャに陸戦隊	B17十数機、ウェーキに來襲	ルブを占領	ウエワク、マダン、ツルブを占領	第三次魯東作戦開始	ウエワク、マダン、ツルブを占領	ウエワク、マダン、ツルブを占領	ウエワク、マダン、ツルブを占領	ウエワク、マダン、ツルブを占領	ウエワク、マダン、ツルブを占領												
26	22	21	20	18	12	10	4	1	28	27	26	21	21													
第八十一議會開會	汪首席、天皇に拝謁	御前會議で「大東亞戦争完遂の爲の対支處理根本方針」を決定	御府汪首席來朝	御前會議で「大東亞戦争完遂の爲の対支處理根本方針」を決定	天皇、伊勢神宮御親拜	連絡會議で「大東亞戦争完遂の爲の対支處理根本方針」を決定	連絡會議で「大東亞戦争完遂の爲の対支處理根本方針」を決定	連絡會議で「大東亞戦争完遂の爲の対支處理根本方針」を決定	軍事參議官に片桐中将	海軍航空本部長に塚原	中将をそれぞれ就任	学制短縮決定	御前會議で「当面の戦争指導上作戦と物的国力との調整並に国力の維持増進に関する件」を決定	天皇、伊勢神宮御親拜	連絡會議で「現下の情勢に伴ふ当面の対仏施策」及び「船舶二十九万五千噸の増徴に関する件」を決定	馬公警備府司令官に高	木中将就任	來栖大使、日米交渉の	經緯を發表	連絡會議で「國民政府參戰準備に関する件」を決定	興亞國民大會舉行					



昭和 18 年 (1943 年)

3										2													
29	27	25	23	22	18	17	14	13	13	10	6	24	23	21	13	11	6	6					
<p>ソ連スターリン書記長元帥に就任                  印度各派領袖会議開催                  イーデー、訪米、ルーズベルト大統領と会見                  東條首相、南京訪問                  在華專管租界還付調印                  米、対日誹謗の支那関係外交書を公表                  イーデン、米議会で演説</p>										<p>仏、シロー將軍主席となる                  ブラジル、大西洋憲章に参加                  米、英、蔣軍事会談重慶で開催                  ブルガリヤ陸相暗殺される                  仏、独の占領地境界線撤廃を発表                  仏、在支治外法権撤廃並に租界還付                  英、ガンヂーの釈放を拒絶</p>													
				29	28	21	19	14	9	7	2				16	14	4						
				<p>北京公使館区域行政権還付調印                  仏、在支共同及び專管租界廃棄を声明                  日ソ漁業暫定協定調印                  厦門、鼓浪嶼共同租界行政権還付調印                  伊、北京公使館区域行政権還付調印</p>										<p>下の戦闘終了を発表                  チュニジア地区南北枢軸軍の連絡成る                  独軍、ロストフ及びウオロシエロフグラードを撤退                  独軍、ハリコフを撤退</p>									
28	27	27	23	22	16	13	13	11	9	8	2	1	1	27	26	21	21	19	17	17	14	13	
				<p>独英、ドーヴァーを距て砲撃戦                  枢軸軍、チュニジア北部セラト岬を占領                  独空軍、英本土夜襲を發表                  独軍、ハリコフを占領                  独軍、ビエルゴロド奪回を發表                  独伊、英と俘虜交換開始                  独軍、東部戦線のセフスク占領を公表                  英機、ベルリンを空襲</p>										<p>完了                  蘇滙地区新作戦開始                  連合軍機、キスカ来襲                  雷州半島へ上陸                  海軍、サンクリストル連合軍、アッツ島砲撃                  連合軍、アッツ島砲撃                  廣州湾租借地へ進駐                  海軍、エスピリツサン島を夜襲                  湖北作戦終了                  湖北派遣軍、雲南新作戦開始</p>									
					31	29	28	26	18	10	10	6	27		24	20							
				<p>顔惠慶等投降                  ラエ増援部隊、ダムピール海峡で覆滅                  王勁哉軍參謀長以下投降                  降                  江南進攻作戦開始                  スル諸島残敵掃蕩                  連合軍機、キスカに来襲                  襲                  ハンサ湾に揚陸成功                  カントン島を爆撃                  連合軍機、キスカに来襲                  襲                  カントン島第二次爆撃                  洞庭湖北方及び江蘇地区作戦完了                  ビルマ方面軍を編成                  アッツ沖海戦                  オロ湾を攻撃</p>										<p>館区域回収措置要領                  及び「帝國專管租界還付実施措置要領」を決定                  連絡会議で「遣独伊連絡使に与ふる訓令」を決定                  連絡会議で「上海共同租界回収実施措置要領」及び「國民政府と厦門特別市との関係調整要領」を決定                  連絡会議で「世界情勢判断」を決定</p>									



昭和 18 年 (1943 年)

6					5															
30	20	15	12	10	7	4	4	31	30	26	21	21	20	18	11	5				
上海共同租界返還取極	比島独立準備委員長にラウレル就任	佐藤、モロトフ会談	承認	承認	独伊、アルゼンチンを聲明	アルゼンチン、中立を聲明	アルゼンチンに革命勃発	佐藤大使、ソ連モロトフ外相と会見	会見	会見	会見	ソ連、中立条約撤守を聲明	ソ連コミンテルン解散	米遣ソ特派デーヴィス、ソ連スタールリン書記長と会見	ニヤ、ハンガリー、ブルガリヤ断交	英首相チャーチル訪米、大統領ルーズベルトと会談	東條首相、訪比			
			22	13	11	11	7	4						31	16	13	8			
			独軍、伊へ増援	抗戦停止を發表	ラムベトウサ守備伊軍降伏	軍降伏	パンテラリア島守備伊軍	ソ軍、新赤旗を制定	仏、正規軍を編成	爆撃	独機、ゴーリキーを大				連合軍、アレキサンドリアの仏艦隊を接收	ローマ初空襲さる	部の戦闘中止を發表	独伊軍、チュニジアのビセルタ撤退を發表	独伊軍、チュニジア南	
			30	30	18	16	8	7	6				29	20	14	12	9	8	8	6
			連合軍、ナッソウ湾へ上陸開始	上陸開始	連合軍、レンドバ島に就任	英印軍総司令官にオーレンレック就任	米機、ハノイを爆撃	ラツセル島を攻撃	重慶軍の榮子恒投降	アツツ島部隊玉砕				モンドウを占領	米軍、アツツへ上陸	中支安郷を占領	米潜水艦、北海道幌別を砲撃	ブチドンを占領	重慶軍の龐炳勳投降	
			26	19	19	19	16	9	5				31	26	21			17	1	
			与に關する件」及び「比	指導大綱の實行に關する件」	對緬方策の實行に關する件」	「原住民政治參與に關する件」及び「比	第八十二臨時議會閉會	連絡會議「大東亞政略	連絡會議「大東亞政略	戰時食料自給対策を決定	後藤國務相入閣	御前會議で「大東亞政略指導大綱」を決定							東部軍司令官に土肥原	東部軍司令官に土肥原

昭和 18 年 (1943 年)													年											
7						6						月												
30	28	26	25	23	22	21	19	4	3	3	3	1	1	30	調印 ソ連、エチオピアと国 交開始	国 際 情 勢								
ソ連駐劄外交団のモス						イ、フアンスト党解体 伊、パドリオ内閣成立 伊、ムッソリーニ辭職 印、上海共同 伊、租界返還協定に調 印、上海返還協定に調 印、租界返還協定に調 印、上海共同 伊、パドリオ内閣成立 伊、ムッソリーニ辭職 印、上海共同 伊、租界返還協定に調 印、上海返還協定に調 印、租界返還協定に調 印、上海共同						チャンドラ・ボース、 シンガポールで印度臨 時政府を組織 泰、新領土を獲得 ブルガリヤ、ベルギー 通商協定成立 佐藤、モロトフ会談 東條首相、訪泰 華北政務委員長に王克 敏就任 独伊両巨頭、北伊フェ ルトレーで会談 ローマ法王、米英に空 襲を抗議と発表 上海租界返還協定に調 印、上海返還協定に調 印、租界返還協定に調 印、上海共同 伊、パドリオ内閣成立 伊、ムッソリーニ辭職 印、上海共同 伊、租界返還協定に調 印、上海返還協定に調 印、租界返還協定に調 印、上海共同												
												29	23	20	10	5	歐洲 戰 場	作 戰						
												獨軍、東部戦線で攻勢 開始 連合軍、シチリア島攻 撃開始 獨軍、ノールウエー北 部でソ軍と戦闘 連合軍、シチリア島パ レルモ占領を発表 獨軍、シチリア島ニコ ツア市を撤退												
												30	29	27	25	17	13	12	11	4	3	1	東 亞 戰 場	勢 情
												海軍機、レンドバ島を 攻撃 連合軍、ライス湾 及びニューシヨージャ 島へ上陸 ムボを放棄 クラ湾夜戦 エイカイを爆撃 コロンバンガラ島沖夜 戦 ボーゲンビルを空襲 連合軍機、ウエーキ島 に來襲 レガタ揚陸成功 ケ号作戦收容部隊キス カへ突入、キスカ完全 撤退 北支軍、十八夏太行作 戦開始												
												31	28	19	14	1	30	29	国 内 情 勢					
												東京都制実施 連絡会議「対支緊急経 済施策の件」を決定 連絡会議「日本国ビル マ国同盟条約案」を決 定 連絡会議「ビルマ国独 立に関する帝國政府声 明」を決定 連絡会議「油槽船の徴 備並に南方石油輸送に 関する件」、「マライ及 シヤン地方に於けるタ イ国領土に関する日本 国、タイ国間条約」及 び「領土問題に関する 日、タイ間交換公文」 を決定												

昭和 18 年 (1943 年)

9								8											
27	25	23	15	12	9	8		24	24	17	6	5	2	1	1	1	1		
日本、伊ファシスト政	印	日、ビルマ領土条約調	立	伊、ファシスト内閣成	日独共同声明	日独共同声明ニ救出さる	府北伊に樹立	伊、ファシスト共和政	伊、無条件降伏	伊、ファシスト共和政	ムソッリーニ救出さる	伊、ファシスト共和政							
			24	16	10	3		22	17	15	14	13	9	5	5				
			到達	ソ軍、ドニエプル河へ	ソ軍、ドニエプル河へ	ソ軍、ドニエプル河へ	ソ軍、ドニエプル河へ	ソ軍、ドニエプル河へ	英、カナダ軍、伊本土へ上陸										
15	14	12	10	5	4	1		30	25	21	21	18	14	13	12	12	9	4	
ラエ、サラモア部隊、	伊軍の武装を解除	連合軍機、千島に来襲	天津伊租界に進駐	連合軍機、千島に来襲	連合軍機、千島に来襲	連合軍機、千島に来襲	連合軍機、千島に来襲	米機動部隊、南島島に来襲	連合軍、ラエ東方へ上陸										
15	13	9	4																
連絡会議で「昭和十八年度甲造船計画に関する件」を決定																			

クワ帰還を發表

ビルマ独立宣言、対米英宣戦

日、ビルマ同盟条約調

印

ジャワ原住民政治参与

上海共同租界還付

米、対アルゼンチン禁輸

独、ビルマを承認

伊、全土に戦争状態布告

英首相チャーチル、米大統領ルーズベルト、大統領ルーズベルト、ケベックで会談

ケベック会談終了

独、ヒムラー内相就任

独軍、オリヨール市を撤退

独軍、シチリア島カタソヤ市を撤退

ニヤ市を撤退

ソ軍、ハリコフ市挟撃

作戦開始

連合軍機、ローマを空襲

伊、ローマを非武装都市と發表

ソ軍、ハリコフ市に突入

独伊軍、シチリア島を撤退

独軍ハリコフ市を撤退

ムンダの我軍、コロパンガラ島に転進

連合軍機、ラエ、サラモア及びフィンシュハ

ーフェンに来襲

ボーゲンビル島沖空襲

米機、千島に来襲

ムンダ、ベララベラ沖

航空戦

米機、バリックパバン

に来襲

連合軍機、マカッサル

に来襲

パンカ島ピロアを空襲

パンカ島部隊、アンデル島に転進開始

英、東南アジア軍司令部を設置、司令官マウ

ントバツテン中将就任

米機、ウェーキを空襲

連絡会議で「ABC船舶の損耗補填に関する件」を決定

連絡会議で「大東亞戦争後敵国より船籍を移

転せるソ連船舶の取扱

(臨検調査を行はず)

に関する件」を決定



昭和 18 年 (1943 年)	
11	10
<p>27 26 23 16 11</p> <p>レバノンに騷擾發生 ラトヴィア、対ソ宣戦 米、英、蔣カイロで会 談 コロンビア、対独宣戦 米、英、ソ、テヘラン で会談</p>	
<p>30 26 22 15 6 1 1</p> <p>ソ軍、ケルチ半島へ上 陸 独軍、南伊フロゾーネ を撤退 独軍、キエフ市を撤退 独軍、南伊アテッサを 撤退 英機、ベルリンを大空 襲 独軍、ゴメリ撤退を發 表 独軍、コロステンを撤 退</p>	
<p>29 28 27 26 25 22 21 19 17 13 11 8 7 5 2 2 1</p> <p>連合軍、クロキナ上陸 ボーゲンビル島沖海戦 洞庭湖西方作戦開始 第一次ボーゲンビル島 沖航空戦 ボーゲンビル島へ逆上 陸 第二次ボ島沖航空戦 第三次ボ島沖航空戦 第四次ボ島沖航空戦 第五次ボ島沖航空戦 東南アジア反枢軸軍司 令官にマウントパッテ ン就任 連合軍、マキン、タラ ワへ上陸開始 第一次ギルバート諸島 沖航空戦 マキン、タラワ両島守 備隊玉砕 第三次ギ諸島沖航空戦 第三次ギ諸島沖航空戦 マキンの連合軍を空襲 第四次ギ諸島沖航空戦</p>	<p>28 27 18</p> <p>怒江西岸の蔣軍を包囲 連合軍、モノ島へ上陸 る号作戦発令</p>
<p>24 14 13 12 10 6 6 5 1</p> <p>軍需省、農商務省、運 輸通信省発足、東條軍 需相、山崎農商相、八 田運通相就任 大東亜会議開催 連格会議で「アングダ マ、ニコバル諸島帰属 に関する件」を決定 連格会議で「蘇滙特別 区に於ける通貨調整実 施時機変更に関する 件」を決定 華北政務委員長王克敏 来朝 ジャワ参議院議員スカ ルノ来朝 第二次交換船帝亞丸、 横浜入港 連格会議で「徵備油槽 船損耗補填に関する 件」を決定</p>	<p>23 15</p> <p>件」を決定 連格会議で「米英のア ソレス進駐に伴ふ対葡 措置に関する件」を決 定 連格会議で「大東亜共 同宣言」を決定</p>

昭和 19 年 (1944 年)					昭和 18 年 (1943 年)					年		
1					12					月		
27	26	11	7	4	2	11	6	4	4	1	国 際 情 勢	
断交 リベリア、対日宣戦	アルゼンチン、対枢軸	伊チアノ伯等処刑さる	自由印度仮政府、ビルマへ進出	米ソ貿易協定成立	委員を脱退 ポリヴィア、汎米防衛	記念 テヘラン会談を公表 日独伊軍事協定二周年	戦 ポリヴィア、対枢軸宣	会談 米、英、トルコ三首脳	を公表 米、英、蔣カイロ会談			
21	20	20	12	10	6	1		28	20	14	作 戦 情 勢	
連合軍、ネッツノ附近	独軍ノヴゴロドを撤退 発表	独軍ミルンツノ撤退を 発表	独軍、チェルヴァアロ撤 退を發表	独軍、サン・ヴィット ーレ撤退を發表	独軍、ベルジチエフ撤 退を發表	独軍、ジミトール撤退 を發表		撤退 独軍、ヘルソンを撤退 撤退 独軍、南伊オルトナを	独軍、チュルカツスイ を撤退	独軍、チュルカツスイ を撤退	欧 洲 戦 場	
29	24	11	10	7	5	2	29	26	24	19	東 亜 戦 場	
取、ブインに集結	作戦下令 チャイセル湾部隊を撤	連合軍機、台湾に來襲 一号(京漢、粵漢打通)	連合軍機、クリスマス 島に來襲	ウ号(ビルマ・イムバ ール)作戦認可	撤退を公表	連合軍グンビ岬へ上陸 フィンシュハーフェン	常徳作戦終了 岬(ツルブ)へ上陸	連合軍、グロセスター マキン、タラワを攻撃 上陸	連合軍、マーカー岬へ 上陸	地区を放棄 フィンシュハーフェン 陸軍、マーカー岬へ逆 上陸	第六次ボーゲンビル島 沖航空戦 常徳を占領 マーシャル諸島沖航空 戦 カルカタを攻撃	東 亜 戦 場
	24	18	11	8							国 内 情 勢	
											学徒兵入隊 都市疎開実施要綱発表 徴兵適齡一年引下施行 第八十四議會開會	
											新防空法実施 連絡會議で「昭和十九 年度甲造船計画の件」 を決定 緊急国民勤勞動員方策 要綱及び学徒勤勞動員 方策要綱を發表 連絡會議で「情勢の変 化に應ずる対仏措置腹 案」を決定	

昭和 19 年 (1944 年)

		2										1				
4	1								27	16	1					
交	米、対アルゼンチン断								ソ連、地方分権制度を決定	アルゼンチンにクーデター勃発	スエーデン、ソ連に領空侵犯を抗議					
14	1							23	23	9	6	2	2	31	30	25
発表	連合軍機、ローマ、ヴァチカンを爆撃							独軍、ロガチェフを撤退	独軍、クリオイ・ログ撤退を発表	独軍、ニコポリ撤退を発表	独軍、ヘルシンキを爆撃	ソ連、エストニア国境に到達	独軍、エストラップ撤退を発表	独軍、クラスノグウセチェイスク撤退を発表	独軍、チュードヴォ撤退を発表	ローマ攻防戦展開
6	2	1	29	23	22	19	17	16	5	4	3	1	1		31	30
連合軍、タラセア半島	連合軍空挺部隊北ビルマに侵入	連合軍、アドミラルティ諸島ロスネグロス島へ上陸	米機動部隊、マリアナを空襲	連合軍、グリーン島へ再度上陸	トラック大空襲を受く	連合軍、ブラウン環礁内へ上陸	連合軍、グリーン島へ再度上陸	ビルマ国境トンガバザ	トルマ島守備隊玉砕	クエゼリン及ビル上陸	グリン島へ逆上陸	連合軍、マロエラップ及びウオツジエを砲撃	連合軍、クエゼリン及ビル上陸	米機動部隊、マーシャル群島に襲	連合軍、グリーン島へ上陸	
7	2			25	21		21	19	9	5		2				
学	生徒動員実施要綱決定			連絡会議で「船舶徴備に関する件」を決定	東條、嶋田両大将それぞれ陸海両統帥部長に就任	連絡会議で「船舶徴備に関する件」を決定	東條、嶋田両大将それぞれ陸海両統帥部長に就任	東條、嶋田両大将それぞれ陸海両統帥部長に就任	東條、嶋田両大将それぞれ陸海両統帥部長に就任	東條、嶋田両大将それぞれ陸海両統帥部長に就任	東條、嶋田両大将それぞれ陸海両統帥部長に就任	連絡会議で「葡領チモール島派遣視察員取扱に関する件」を決定	連絡会議で「当面の対ソ施策に関する件」を決定			



昭和 19 年 (1944 年)

6				5														
30	17	10	5			30	27	22	20	6	28							
伊国王退位 伊、ボノミ内閣登場 米副大統領ウォーレス、 重慶に到着 アイランド独立 米、対フィンランド断 交								米海軍長官ノックス急死 ガンヂー、釈放さる 米、共産党解放 ソ連、ブルガリヤに最 後通牒を發す 重慶十二中全会開会 エクアドル革命成功										
16	16	15	10	8	6	5	30	29	25	18	9							
独軍、ローマを撤退 連合軍、北仏へ上陸、 第二戦線構成 独軍、バイユーを撤退 独軍、イジニー撤退を 發表 独軍、コーモン撤退を 發表 独V一号登場 独軍、キネヴィル撤退 を發表								独軍、セバストポリを 撤退 独軍、カッシノを撤退 独軍、リットリア撤退 を發表 独軍、アブリリア撤退 を發表 独軍、ヴァルモントネ 及びヴェレトリを撤退										
16	15	15	15	13	13	11	10	8	27	27	25	24	18	17	9	9	8	1
渾作戰開始 あ号作戰決戦準備下令 米機動部隊、マリアナ 諸島に來襲 あ号作戰決戦用意発令 渾作戰一時中止 連合軍サイパンへ上陸 あ号作戰決戦發動 米機、硫黄島及び父島 に來襲 B 29北九州に來襲								許昌を占領 内地軍に作戰任務を附 与 京漢打通成る、湯恩伯 軍主力潰滅 西部ニューギニアにお ける確保要線の後退を 發令 連合軍機動部隊、ジャ ワに來襲、連合軍、ワ クデ及びサルミへ上陸 米機動部隊、南島島に 來襲 米機動部隊、グワムに 來襲 洛陽を占領 連合軍ビアク島へ上陸 粵漢打通作戰開始										
				21	10	3					29	6						
				畑大将、元帥に列す 大塚、鈴木、大河内三 行政査察使を任命 大東亞戰爭従軍記章を 制定								連絡會議で「油槽船徴 備に関する件」を決定 連絡會議で「日ソ間物 資交換に関する件」を 決定						

昭和 19 年 (1944 年)		年
7	6	月
<p>25 22 20 14 4</p> <p>ソ連、ポーランド協定成立</p> <p>了</p> <p>泰ビブソ内閣総辞職</p> <p>未遂事件発生</p> <p>印独総統ヒットラー暗殺</p> <p>天津、伊租界の返還調</p> <p>を發す</p> <p>ガンヂーにメッセージ</p> <p>チャンドラ・ボース、</p>		国際情勢
<p>27 23 23 19 17 15 13 6 5 3</p> <p>獨軍、ナルヴァ撤退を發表</p> <p>獨軍、プスコフ及びオストロフを撤退</p> <p>獨軍、ヤロスラフ撤退を發表</p> <p>獨軍、サン・ローを撤退</p> <p>獨軍、グロドノを撤退</p> <p>獨軍、リヴォルノを撤退</p> <p>獨軍、ヴィルナ撤退を發表</p> <p>獨軍、グロドノを撤退</p> <p>獨軍、コヴェリ撤退を發表</p> <p>ソ軍、ミンスクを奪回</p> <p>獨軍、西部司令官にルンデシュテット元帥就任</p> <p>獨軍、グロドノを撤退</p> <p>獨軍、リヴォルノを撤退</p> <p>獨軍、ヴィルナ撤退を發表</p> <p>獨軍、コヴェリ撤退を發表</p> <p>ソ軍、ミンスクを奪回</p>	<p>30 27 18 17 17</p> <p>シエルフール陥落</p> <p>撤退</p> <p>獨軍、ヴィテプスクを</p> <p>線を突破</p> <p>ソ軍、マンネルハイム</p> <p>連合軍エルバ島へ上陸</p> <p>退を發表</p> <p>獨軍、サンソヴール撤</p>	作戦
<p>30 29 23 21 18 10 10 8 7 4 2</p> <p>連合軍、ヌンホル島へ上陸</p> <p>ウ号作戦中止発令</p> <p>サイパン守備部隊玉砕</p> <p>B 29、九州西北部に來襲</p> <p>アイタベ作戦開始</p> <p>連合軍、サイパン完全占領を發表</p> <p>連合軍、グロム島へ上陸</p> <p>連合軍、テニアンへ上陸</p> <p>B 29、大連、鞍山、奉天に來襲</p> <p>連合軍、ニューギニヤ双子島へ上陸</p>	<p>27 27 26 24 20 18</p> <p>開始</p> <p>重慶第七戦区進攻作戦</p> <p>設を發表</p> <p>米、極東航空部隊の創設を發表</p> <p>衡陽飛行場を占領</p> <p>動部隊を強襲</p> <p>小笠原諸島南方で米機</p> <p>あ号作戦失敗</p> <p>長沙を占領</p>	東亞情勢
<p>22 18 18 17 17 11 8 5 3</p> <p>小磯、米内内閣登壇</p> <p>帥それぞれ就任</p> <p>閣東軍司令官に山田大將、教育總監に杉山元</p> <p>參謀総長に梅津大將、</p> <p>東條内閣総辭職</p> <p>野村海相入閣</p> <p>學董集団疎開要綱を發表</p> <p>定策に対する件」を決定</p> <p>連絡会議で「燃料確保</p> <p>る件」を決定</p> <p>促進及繰上輸送に関する件」を決定</p> <p>政府声明を發表</p> <p>大陸作戦に関する帝國</p> <p>連絡会議で「作戦準備</p> <p>に伴う宣伝要領」を決定</p> <p>連絡会議で「燃料確保</p> <p>る件」を決定</p> <p>促進及繰上輸送に関する件」を決定</p> <p>政府声明を發表</p> <p>大陸作戦に関する帝國</p> <p>連絡会議で「作戦準備</p> <p>に伴う宣伝要領」を決定</p>		国内情勢



昭和 19 年 (1944 年)										年
10	9									月
4	28 23 23 16 14 14 12 10 比島、対米英宣戦 本の遣ソ特使の件を拒 ソ連外相モロトフ、日 捧呈 山本駐泰大使、信任状 旋を拒否 独、日本の独ソ和平幹 談開催 米英巨頭、ケベック会 開始を發表 ポリヴィア、対ソ国交									国際情勢
	員会を南独で結成と發 ベタン元帥、仏国民委									
3 3	28 27 25 20 18 17 16 13 12 11 9 獨軍、リエージュを撤 退 獨軍、ルクセンブルグ を撤退 ル・アール陥落 獨軍、ロムツア撤退を 發表 ソ軍、ソフィアに入城 連合軍空挺隊、オラン ダに降下 英軍、オランダ領ライ ン河を渡河 獨軍、ナンシー撤退を 發表 ブローニュ陥落 連合軍、アルバニア北 方へ上陸 ソ軍、スロヴァキア國 境を突破									歐洲戰場
	連合軍、ギリシャ本土 カレー陥落									
3	28 27 27 26 22 22 21 17 15 獨軍、ベリリュー及 ビモロタイへ上陸 連合軍、アンガウル島 へ上陸 米機、マニラを空襲 全比島に戒嚴令施行 梧州を攻略 B 29、鞍山、大連に米 襲 福州東北へ奇襲上陸 グラム及びテニアン部 隊玉砕 丹竹を攻略									東亞戰場
	連合軍、モロタイ飛行 場の使用を開始									
5 1	28 23 21 19 14 12 11 7 6 最高戦争指導会議で、 「独屈伏の場合に於ける 国内的措施要領」を決定 最高戦争指導会議で、 「今後採るべき戦争指導 の大綱に基づく物的国力 運営の基礎事項に關する 件」を決定 最高戦争指導会議で、 「独屈伏の場合に於ける 国内的措施要領」を決定 最高戦争指導会議で、 「對ソ施策に關する件」 を決定 策に關する件」を決定 ソ連マリック大使に遣ソ 特使派遣を提議 第八十五臨時議會開會 最高戦争指導會議で、 「對軍慶政治工作開始」 を決定 第八十五臨時議會閉會 最高戦争指導會議で、 「情勢の変化に應ずる 對仏措置に關する件」 を決定 最高戦争指導會議で、 「今後採るべき戦争指 導の大綱に基づく物的国力 運営の基礎事項に關する 件」を決定 第八十五臨時議會閉會 最高戦争指導會議で、 「情勢の変化に應ずる 對仏措置に關する件」 を決定 最高戦争指導會議で、 「今後採るべき戦争指 導の大綱に基づく物的国力 運営の基礎事項に關する 件」を決定 最高戦争指導會議で、 「独屈伏の場合に於ける 国内的措施要領」を決定 最高戦争指導會議で、 「對ソ施策に關する件」 を決定									国内情勢
	帝都防空本部発足 最高戦争指導會議で、									

昭和 19 年 (1944 年)

11				10							
10	9	7	7 2			31 28	15 15 9				
<p>ルーマニヤ、対日断交 ソ連首相スターリン革 命記念日演説で日本を 侵略国と言明 ブルガリヤ、対日断交 米大統領ルーズベルト 四選 国府首席汪精衛死去</p>				<p>表 英ソ、モスコウ会谈開 催 独、ロンメル元帥の死 亡を発表 ハンガリー、対ソ休戦 申入 ソ連、ブルガリヤ休戦 スペイン、仏ドゴール 政権を承認</p>							
20	19 18 10 8 6	1	1	31	26	25	23 20	19 19 14	13 13 10	10	
<p>連合軍、ヴァルヘレン 島へ上陸 独軍、ケスマット撤退 を発表 ブダペスト市街戦展開 独V二号登場 独軍、フォルリを撤退 米軍、メッツに突入 米軍、ガイレンキルヘ ンを占領 米軍、ザールブルグに 突入</p>				<p>へ上陸 英軍、コリント市に突 入 ソ軍、バルト海に到達 ソ軍、リガを占領 連合軍、アーヘンに突 入 英軍、アテネを占領 独軍テベス撤退を発表 独軍、デブレツェンを 撤退 独軍、ベルグラードを 放棄 独軍、ゴルダツプ撤退 を発表 ソ軍、ノールウエーに 進入 独軍、エンペローデ撤 退を発表 ギリシャ軍、サロニカ を占領</p>							
11 10	6	5 4	3	1		25	25 25 20 18	17	12	10	10 4
<p>マリアナ基地 B 29 東京 を初偵察 サイパン及びテニアン を空襲 桂林第一飛行場を占領 米艦載機、マニラ、パ タンガスに空襲 米艦載機、ルソン全域 に空襲 桂林及び柳州を攻略 B 29 八〇機、九州西部 に空襲</p>				<p>福州を占領 米機動部隊、沖繩方面 に空襲 海軍、捷一号及び捷二 号作戦警戒発令 米機動部隊、台湾方面 に空襲、台湾沖航空戦 開始 米軍、レイテ湾口スル アン島へ上陸 捷一号作戦発動 米軍、レイテへ上陸 比島沖海戦 海軍神風特攻隊初めて 米艦を攻撃 B 29 一〇〇機九州西部 に空襲</p>							
21 15	8 7	6	1					28	28	21	18
<p>朝 チャンドラー・ボース来 政府声明を發表 戦争完遂に関する帝國 最高戦争指導会議で、 「船舶の使用に関する 件」を決定 「対潜護衛用機帆船の 徵備に関する件」及び 「最高戦争指導会議で、 バーモウ入京</p>				<p>「決戦輿論指導方策要 綱」を決定 満十八歳以上の男子を 兵役に編入 最高戦争指導会議で、 「油槽船の使用に關す る件」を決定 最高戦争指導会議で、 「液体燃料確保対策に 關する件」を決定 内閣顧問十二氏発令</p>							

昭和 19 年 (1944 年)										年
12					.11					月
29 21 17 10 3 パナマ革命政權樹立 棄 ルクセンブルグ中立放 ドル国交停止 メキシコ、対サルヴァ 成立 仏(下ゴール)ソ同盟 ギリシヤに内乱勃発										国際情勢
29 26 24 18 16 16 12 入 ソ軍、ブダペストに突 を占領 独軍、ロシユフオー 独軍、サン・ヴァイト クセンブルグに突入 独軍、ベルギー及びル 独軍、西方攻撃を開始 独軍、タンを放棄					25 24 放棄を發表 独軍、ストラスブール 撤退を發表 独軍、スウォルベ半島					作戦
22 19 19 18 15 13 8 7 7 3 B 29 一〇機、名古屋 に来襲 B 29 三〇機、九州西部 放棄 レイテ地上決戦方針を 放棄 B 29 七〇機、名古屋に 来襲 B 29 七〇機、名古屋方 面に来襲 連合軍、ミンドロ島へ 上陸 B 29 七〇機、名古屋に 来襲 レイテ地上決戦方針を 放棄 B 29 三〇機、九州西部 に来襲 B 29 一〇機、名古屋					29 27 26 24 22 21 B 29、東京を夜間空襲 B 29 四〇機、関東、東 海に来襲 B 29 四〇機、関東、東 海に突入 ラッグ及びブラウエン 機、東京を初空襲 〇機、東京を初空襲 マリアナ基地、B 29 一 砲撃 連合軍、千島松輪島を B 29、九州西部に来襲					情勢
26 21 20 19 13 7 第八十六議会開會 等に関する件」を決定 「船舶の徴備損耗補填 最高戦争指導会議で、 総督二位一体制を決定 台湾軍司令官及び台湾 需相、小林国務相入閣 小磯内閣改造、吉田軍 工作指導に関する件」 一現地に於ける対重慶 工作指導に関する件」 を決定 東海、南海大地震 最高戦争指導会議で、					25 22 「機帆船の徴備に関する 件」を決定 最高戦争指導会議で、 村大將それぞれ就任 那派遣軍総司令官に岡 教育總監に畑元帥、支 する件」を決定 「印度仮政府指導に関					国内情勢

昭和 20 年 (1945 年)		
1		12
	20 19 5 条約成立 ソ連、ハンガリー休戦 盟關係を破棄 伊ボノミ政権、対日同 トルコ、対日断交	
	28 23 17 16 14 ソ軍、ワルソー東方で 新攻勢開始 英軍、シッタルト地区 で攻撃開始 ワルソー陥落 ソ軍、オーデル河に達 す ソ軍、メーメルを占領	
21 20 19 16 14 9 9 6 6 5 5 3 3 2	27 27 26 24 米艦、硫黄島を砲撃 米艦、レイテ及びサマ ール両島の戦闘終了を 発表 B 29 五〇機、東京に米 艦、硫黄島を砲撃 英軍、アキヤブを占領 米機動部隊、台湾、沖 繩に米襲 B 29 八〇機、名古屋に 米襲 支那派遣軍、重慶攻略 作戰を意見具申 米艦、小笠原及び硫黄 島を砲撃 米軍艦船、リンガエン 湾に進入 B 29 七〇機、九州西部 に米襲 B 29 六〇機、東京、名 古屋に米襲 米軍、リンガエン湾へ 上陸 B 29 一〇〇機台湾に、 同六〇機名古屋に米襲 米機、南支沿岸に米襲 B 29 八〇機、阪神に米 襲 イラワヂ河畔会戦開始 米機、南西諸島及び台 湾に米襲	
	25 15 11 最高戦争指導会議で、 「支那戦時経済確立対 策」、「支那に於ける物 資調達統一要領」及び 「大陸重要輸送確保施 策」を決定 最高戦争指導会議で、 「緊急施策措置要領」 を決定 最高戦争指導会議で、 「決勝非常措置要綱」 を決定	

昭和 20 年 (1945 年)		年
2	1	月
<p>23 21 11 4</p> <p>加 トルコ、連合国側に参 催 メキシコで汎米会議開 対日参戦を决意 ヤルタ協定成立、ソ連 アルタで会談 連首相スターリン、ヤ 英首相チャーチル、ソ 米大統領ルーズベルト、 英首相チャーチル、ソ</p>		国 際 情 勢
<p>28 22 20 15 4</p> <p>入 ソ軍、ナイゼ河に到達 ソ軍、ダンテツヒに突 下線総攻撃開始 連合軍、シーグフリー 領 河、オードル河を渡 ソ軍、ブダベストを占 ソ軍、プダベストを占</p>		欧 洲 作 戦 情 勢
<p>16 15 10 10 6 4 3 3 1</p> <p>米軍、コレギドールへ 来襲 B 29 六〇機、名古屋に レガスピを撤退 部に来襲 B 29 一〇〇機、関東北 内地各軍司令官に対し 本土防衛任務を附与 B 29 一〇〇機、関東北 襲</p>	<p>31 30 27 2 24 24 24 23</p> <p>グプへ上陸 米軍、マニラ湾口ナス オヘ上陸 米軍、サン・アントニ 襲 B 29 八〇機、東京に来 B 29 一〇機、東京に投下 I ルに磁気機雷を投下 B 29 一〇機、シンガポ 粵漢線打通成る 米艦、硫黄島を砲撃 占領を發表 米軍、クラーク飛行場 来襲 B 29 七〇機、名古屋に</p>	東 亞 作 戦 情 勢
<p>27 22 21 10 1</p> <p>「対仏印武力処理発動 最高戦争指導会議で、 定 「世界情勢判断」を決 最高戦争指導会議で、 務相兼書記官長就任 小磯内閣改造、石渡国 厚相それぞれ就任 相、広瀬國務相、相川 小磯内閣改造、児玉文 相、広瀬國務相、相川 を決定 「情勢の変化に応ずる 仏印処理に関する件」 を決定</p>		国 内 情 勢

昭和 20 年 (1945 年)

3					2								
27	13	11	7	2	1								
安南、独立を宣言 カンボヂヤ、独立を宣 立 ニューギのチトー政権成 ヤ、対日宣戦 インド、サウジアラビ ルーマニヤ、対日宣戦	アルゼンチン、連合国 側に参加												
30	30	27	17	15	7	5							
ソ軍、オーストリアに 進入	ソ軍、ダンテツヒ及び コマルノを占領	連合軍、フランクフル トを占領	連合軍、ゴブレンツに 進入	連合軍、南部ラインに 進入	連合軍、ケルンを占領 連合軍、ライン河を渡 河								
18	18	17	16	13	11	11	10	9	9	8	5	4	1
米機動部隊、九州南部 マンドレイ陥落	硫黄島守備隊玉碎 撃	米艦、千島松輪島を砲 撃	B29九〇機、大阪に来 襲	B29一三〇機、名古屋 に来襲	ウルシーを特攻攻撃	B29一三〇機、東京に 襲	B29一三〇機、東京に 襲	連合軍、ザンボアンガ へ上陸	仏印武力処理開始	連合軍、マンドレイに 進出	マニラ方面の戦闘終熄 連合軍	B29一五〇機、東京に 襲	米機、南西諸島に来襲
28	26	25	19	19	17								
陸軍、バラワン島へ上 陸	連合軍、マニラ旧城内 に突入	米軍、硫黄島へ上陸	B29一二〇機、東京に 襲	米艦載機、関東地方に 襲	上陸								
19	17	16	15	10	6	3	1						
閣議で軍事特別措置法 案を決定	「第二次大東亜会議開 催に関する件」を決定	最高戦争指導会議で、 大本営の議に列す	総噸の船舶徴備を決定 小磯首相、特旨により	最高戦争指導会議で、 本土決戦準備の為八万	「支那鉄道運営の軍管 理に関する件」を決定	御下問	最高戦争指導会議で、 國民勤勞動員令制定	最高戦争指導会議で、 「支那鉄道運営の軍管 理に関する件」を決定	天皇、陸海合同に関し 御下問	最高戦争指導会議で、 「仏印処理に伴ふ声明 の件」及び「仏印処理 に伴ふ広州湾租借地処 理に関する件」を決定			
													に關する件」及び「印 度支那政務処理要領」 を決定

昭和20年(1945年)										年						
4		3								月						
12	11	5									国 際 情 勢					
ソ連、日ソ中立条約不 延期を通告 スペイン、対日断交 米大統領ルーズベルト																
11	10	1									欧 洲 戦 場					
ルール二重包囲成る 連合軍、ハノーバーを 占領 連合軍、エルベ河に到											作 戦					
6	4	1	31	31	30	28	28	27	26	26	26	25	23	22	19	東 亜 戦 場
我が航空部隊、第一次 来襲 米軍、沖繩本島へ上陸 B29二四〇機、横浜に B29二四〇機、横濱に			米軍、神山島及び前島 へ上陸 地に来襲 B29一七〇機、九州各 地に来襲 米機動部隊、南西諸島 に來襲			米機動部隊、九州南 部に來襲 雷投下 B29五〇機、関門に機 雷投下		天号作戦発令 B29一五〇機、九州に 來襲		米軍、セブ島へ上陸 米軍、慶良間列島へ上 陸		B29一三〇機、名古屋 に來襲		及び四国に來襲 米機動部隊、阪神、呉 方面に來襲 老河口作戦開始 米機動部隊、沖繩に來 襲、沖繩艦砲射撃を受 く		
13	9	7	1												国 内 情 勢	
小磯内閣総辞職 鈴木内閣登場 東郷外相入閣 国民義勇隊編成を決定														陸海合同に関する御下 問に奉答 第八十六議会閉会 最高戦争指導会議で、 「第二次大東亜会議開 催延期の件」を決定 大日本政治会結成		





昭和 20 年 (1945 年)

7			6														
18	17 14	13 6											26 26 25 21 17	14	13 9	6	
を拒否	ソ連、近衛使節の派遣	ムで会談開始 米英ソ三巨領、ポツダムで対日宣戦											国際連合憲章成立 米國務長官辞任	捕さる モスクワ會議開催 シムラ會議開催 伊バリー内閣登場	提出 伊首相ボノミ、辞表を	ブラジル、対日宣戦 米海軍次官更迭	
4	3	2	1	29	24 22	21 20	18	17	15 13 11	10	8	7	5				
襲 同一二〇〇機、関東に	襲 P 51 一〇〇機、大阪に	襲 B 29 二五〇機、四国に	襲 B 29 一六〇機、九州に	連合軍、パリツクパバ ンへ上陸	連合軍、ハルマヘラ及 びテルナテへ上陸	沖繩部隊通信杜絶 アパリに降下	米空挺部隊、ルソン島	米軍、日本上陸作戦方 針を決定	襲 B 29 一〇〇機、九州に	襲 B 29 三〇〇機、大阪に	襲 松輪島砲撃を受く 沖繩海軍部隊玉砕	襲 南九州に襲	襲 B 29 三〇〇機、P 51 七	襲 B 29 三五〇機、阪神に	襲 B 29 二五〇機、大阪に	襲 米機動部隊二〇〇機、	
17	12	10	1				28 26 26	23	23	22	21 13	12 10 9					
最高戦争指導會議で、	近衛公、遣ソ使節を命 ぜらる	を決定	「遣ソ使節派遣の件」	比大統領ラウレル、天 皇に拝謁	最高戦争指導會議で、	東京防衛軍司令部設置 を發表	内閣告諭を發表	施行 広田・マリク會談	國民義勇戰隊統率令 的に適用	軍事特別措置法を全国 示	天皇最高戦争指導會議 構成員に終戦意図を開	戰時緊急措置法施行令 制定	第八十七臨時議會閉會 民義勇兵役法成立	地方総監府創立	第八十七臨時議會開會 地方總監府創立		





昭和 20 年 (1945 年)		年
9	8	月
22 5 2 日本、降伏文書に調印 ソ連、国家防衛委員会 解消米、対日管理政策を 表	29 28 19 去 チャンドラ・ボース死 毛沢東、蒋介石と会見 ドイツ戦犯起訴	国 際 情 勢
		作 戦 場 情 勢
12 9 9 8 6 5 3 2 1 1 ソ軍、千島を占領 米第八軍、横浜へ上陸 開始 米軍、日本陸海軍に対 する一般命令第一号を 発令 比島方面降伏 蘭印方面降伏 ラバウル方面降伏 米騎兵第一師団、東京 へ進駐 支那派遣軍降伏 ボルネオ方面降伏 南方軍降伏	28 25 23 22 20 19 18 16 16 14 ソ軍、真岡へ上陸 樺太方面停戦協定成立 陸海軍復員開始 樺太方面降伏 米軍、日本本土に進駐、 米艦隊横須賀に入港 交渉 停戦委員、マニラで ソ軍、占守島へ上陸 関東軍降伏 停戦の大命発令 ソ軍、恵須取へ上陸 熊谷、福山等に米襲 B29八〇〇機、高崎、	東 亞 戦 場
17 13 11 9 6 4 4 1 1 内閣調査局設置 総合計画局及び防空総 本部廃止 第八十八臨時議会議開 天皇、マックアーサー 元帥を御訪問 第八十八臨時議会議閉 マックアーサー元帥、 日本管理方式を發表 GHQ、戦犯容疑者の 指名逮捕を開始 大本営廃止 西日本風水害	31 26 25 大東亜省廃止、商工、 農林両省復活 終戦連絡事務局設置 在郷軍人会解散	国 内 情 勢

昭和 20 年 (1945 年)												
11						10						
25	2019	15	7	6	5 3	2115	1310	10	9			
米、戦時生産局を廃止 国府、中共へ内戦回避 を申入 仏憲法会議開会、ドゴ ール臨時政府首席辞任 米英、対伊休戦条約を 発表 米、カナダ、原子力管 理共同公報を発表 仏ドゴール、再選さる 独ニュルンベルグ国際 裁判開廷 伊バリー内閣総辞職						米、戦後両洋艦隊計画 発表 英、戦時権力五カ年延 長法成立 仏ダルラン処刑さる インドネシヤ共和国、 対蘭宣戦 仏ラザール処刑さる 仏総選挙行わる						
										27161313	ビルマ方面降伏 ニューギニア方面降伏 香港方面降伏 米第六軍、大阪に進駐	
30 27	25	24 24	20	20 17	15	5 1	29 11	15 9	4			
人口調査実施 GHQ、財閥解体を指 令 米ボーレー賠償委員長、 対日賠償政策原則を發 表 兵役法廃止 大東亞戦争調査会官制 公布 GHQ、皇室財産の封 鎖を命令 内大府廃止 GHQ、食糧等の輸入 を許可 GHQ、軍人恩給の停 止を命令 第八十九臨時議會開会 陸海軍両省廃止						米、戦後両洋艦隊計画 発表 英、戦時権力五カ年延 長法成立 仏ダルラン処刑さる インドネシヤ共和国、 対蘭宣戦 仏ラザール処刑さる 仏総選挙行わる				海軍総隊、聯合艦隊及 び第五艦隊解隊 内地陸海軍部隊復員完 了		